

◎平成28年度地方創生拠点整備交付金（繰越）のKPI検証について

<実施計画>

廃校舎を活用した「子ども・若者・地域支援クラスター」の整備

◆KPI（実施計画）

KPI	平成29年3月 本事業開始時	平成30年3月	平成32年3月
①伏尾台地域の人口（人）	5,434	5,460	5,500
②拠点施設利用者数（人）	0	0	2,500
③コミュニティビジネス件数（件）	0	0	2

◆実施計画のKPI検証方法・KPI検証結果の公表方法

伏尾台創生会議にてKPIの達成度を検証し、同会議にて事業の見直しについて検討し、検証後、速やかに池田市HPで公表。（平成30年6月）

<検証結果>

◆KPI（実績）

KPI	平成29年3月	平成30年3月	開始時からの増減
①伏尾台地域の人口（人）	5,382	5,286	96減少
②拠点施設利用者数（人）	0	0	増減なし
③コミュニティビジネス件数（件）	0	0	増減なし

◆KPI検証方法・KPI検証結果の公表方法

平成30年6月16日の伏尾台創生会議にてKPIの達成度を報告、検証した。検証結果については、池田市HPで公表。

◆検証時の意見等

- ・旧伏尾台小学校の利活用として、コミュニティビジネスを実験的に行っているかどうか。伏尾台で広く公募し、創生会議で発表するなど。
- ⇒市としては、地域再生計画に則り、コミュニティビジネスの創出や子育て支援事業など、地域でイベントを企画立案してほしい。
- ・環境づくりが大切。子どもが遊べるスペースであったり、外観を変えるだけでもインパクトがある。
 - ・伏尾台に軽トラを走らせると集まるのではないか。昭和レトロなカフェなど。
 - ・子どもたちのワークショップ形式でつくりあげていくのも1つ。そうなれば、子どもや子育て世代にも伏尾台での活動も周知される。
 - ・ずっと旧伏尾台小学校という呼び方では認知されにくいと思う、ものにはネーミングが必要であり私たちから「はぐのさと」を使っていくべきではないか。
 - ・グラウンドを公園のようにすれば、認知症の方も歩けるし、見守りができる。
 - ・公募事業のプレゼン大会を実施する。またワークショップ形式で外観などを作り上げるイベントを行い、子どもや子育て世代に伏尾台の活動を周知し、今後につなげる。